

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

(単位:円)

実施計画No.	事業名称					担当課
22	サーモグラフィーカメラ設置事業					総務課
総事業費	財源内訳					
	臨時交付金	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源
2,098,800	2,098,000					800
事業期間	R2.9.18～R2.11.26					
目的	感染症拡大防止対策のためにサーモグラフィーカメラを購入・設置する。					
実施内容	<p>庁舎の主要な出入口、3ヶ所にサーモグラフィーカメラを設置する。 カメラの前に立つと3～5秒程度で検温を実施し、発熱の疑いがある人を効率的に確認ができる。 また、マスクの未着用者には音声により注意を促す。</p>					
効果	<p>庁舎入口でサーモグラフィーカメラにより、検温とマスクの着用を職員や来庁者に呼びかけることで、注意喚起が図られた。 また、市役所が率先して対策を講じていることを、市内の事業所等に周知できた。</p>					
写真						